

# 特定非営利活動法人21世紀構想研究会 創設から20年の足跡



2016年12月16日・第130回21世紀構想研究会忘年パーティ  
(プレスセンタービル10階大ホールで)

私たちには権力も資金力もありません  
会員の善意と情熱で成り立っている研究会です  
時代認識をしっかりと持ち社会の変革に立ちむかいます

(2017年10月13日創設記念パーティでの宣言)

特定非営利活動法人21世紀構想研究会理事長 馬場錬成

21世紀まで残り3年を切った1997年9月26日、日本の将来の指針を研究するグループとして21世紀構想研究会は発足しました。時まさにIT産業革命が叫ばれ、新たな技術革新の波に乗らなければ日本の未来は危ういという時代でした。

それを解決するには、知的基盤の強固な研究現場と産業振興の技術革新を実現し、真の科学技術創造立国と知財立国を確立する必要があります。21世紀構想研究会は、このテーマを解決する討論の場としてスタートを切りました。研究会の会員は、主としてベンチャー企業、行政官庁、大学、マスコミの4極から参加し、毎回、活発な議論を展開して来しました。

20年を経て、世界は激変してきました。AI(Artificial Intelligence、人工知能)、I o T (Internet of Things、モノのインターネット)の足音が急速に近づき、研究現場も産業界も未知の世界に向かって大競争時代に突入しています。5年後、10年後に消える企業、生き残る企業が峻別され、時代の流れに適応できなければ瞬時に濁流に呑み込まれる時代になったのです。

私たち21世紀構想研究会は、未来の日本の在り方を模索しながら会員自らの研鑽も積み重ねながら、これからも実りある討論と意見表明を続けていきます。

研究会で得られた成果を社会に訴えて啓発をはかりながら、国の政策にも結びつくように活動するという目的も、回を追うにしたがって明確となり、政府審議会のパブリックコメントなどにも積極的に発言するようにしています。

研究会は、2001年6月に東京都から特定非営利活動法人として認められ、さらに生命科学委員会(黒木登志夫委員長)、知的財産委員会(荒井寿光委員長)、教育委員会(銭谷眞美委員長)が下部組織として活動を続けています。

会員数は現在約100人であり、アドバイザーとして荒井寿光・元内閣官房知的財産戦略推進事務局長、安西祐一郎・日本学術振興会理事長、大村智・北里大学特別栄誉教授、沖村憲樹・元J S T理事長、黒川清・元日本学術会議会長、黒木登志夫・元岐阜大学学長、銭谷眞美・東京国立博物館館長、利根川進・MIT教授、藤嶋昭・東京理科大学学長、吉川弘之・元東大総長の方々にお願しい活動への助言をいただいています。



2013年6月11日、100回記念シンポジウムにて

次のステップに踏み出しました



2017年5月25日の総会で、新四役が選出されました。左から永野博・副理事長、馬場錬成・理事長、峯島朋子・理事・事務局長、塚本章人・副理事長です。私たちは21世紀構想研究会の益々の発展と社会貢献を目指して頑張ります。

現在、寄付行為に税制優遇措置がある「認定NPO法人」に格上げするため手続きを進めております。同時に私たちの活動が、さらに親睦を深めて異業種人脈を広げながら、一層実のある社会活動を展開したいと思いを新たにしております。

この20周年記念誌は、活動記録と写真でつづる特集誌として編纂しました。各研究会の報告は、21世紀構想研究会HPの左にある縦メニューバーの「アーカイブ」をクリックしていただくと、すべてのジャンプ案内が出てきます。2010年以前の報告は、サイトの都合で写真を割愛させていただきました。

一連の20周年記念イベントでは、女性会員だけで組織した実行委員会(筑紫みずえ委員長)の皆様はじめ、多くの会員の協力を得て進めてきました。心より感謝しております。ありがとうございました。

研究会はこれまで135回開催しました。講演と討論でありテーマは、科学技術創造立国、知財立国の現状の課題や将来への展望を目指したものが多くなりました。経済・金融、政治、文化などにも話題を広げてきています。できるだけタイムリーなテーマでの講演・討論を目指しており、これからもこの方針で継続したいと思います。

また研究会50回記念、100回記念のシンポジウムを開催しました。これまでの研究会の主な記録を報告します。

2004年12月2日、第50回記念フォーラムシンポジウム。

テーマ「ほんとにどうする日本改革」

基調講演「改革のリーダーはほんとにいるのか」

黒川清 (日本学術会議会長)

パネルディスカッション

有本建男 (文部科学省科学技術・学術政策局長)

加藤紘一 (衆議院議員・元自民党幹事長)

野中ともよ (ジャーナリスト)

草刈隆郎 (規制改革・民間開放推進会議委員・日本郵船会長)

黒川清 (日本学術会議会長)

コーディネーター

馬場錬成 (21世紀構想研究会理事長)



2013年6月11日、100回記念シンポジウム。「希望ある日本のために何をなすべきか」をテーマに、5人のパネリストによる意見発表と討論を行いました。



100回記念のパネリストの方々。

写真左から、モデレーター

橋本五郎 (読売新聞東京本社・特別編集委員)

パネリスト

岩本沙弓 (大阪経済大学経営学部客員教授)

塩崎恭久 (自民党衆議院議員、元内閣官房長官)

藤嶋 昭 (東京理科大学学長、東大特別栄誉教授)

柳澤幸雄 (開成中学・高校校長、東大名誉教授)



1997年11月14日、第3回21世紀構想研究会は荒川守正さん(株式会社ナード研究所代表取締役会長)と広瀬克利さん(神戸天然物化学株式会社代表取締役社長)が「化学分野の新技术開発と経営思想」を講演しました。

1997年12月12日、第4回21世紀構想研究会は2つの講演のあと最初の忘年パーティを開催しました。写真は忘年乾杯です。

これに先立つ講演は山田伸二さん(NHK解説委員)の「金融のビッグバン 崖っぷちに立たされる日本経済」と筑紫みずえさん(UBS信託銀行バイスプレジデントアドバイザー)の「もう国には頼まない もう男にも頼まない」でした。



100回記念シンポジウム打ち上げパーティ

2002年4月12日、21世紀構想研究会有志が集まって、これからの研究会の運営について話し合いました。



2000年5月24日第21回21世紀構想研究会は、加藤紘一先生(元自民党幹事長)が「21世紀の政治・経済・科学技術」を講演。ノーベル生理学・医学賞を受賞した利根川進先生(MIT教授)も参加して討論に加わりました。



利根川進先生が日米研究体制の違いについてコメント

2007年12月7日 第65回21世紀構想研究会は、忘年パーティを行い、第2回全国学校給食甲子園大会の報告をしました。



2009年9月7日、第75回21世紀構想研究会は、2つの講演の後に納涼パーティを開催しました。南川三治郎さん(写真家)の「アトリエの巨匠に会いに行く」と中澤律子さん(伊勢丹フードアテンダント)の「オーストラリアワインの魅力」のお話を聞きました。南川さんはこの写真を撮影したので写っていません。



2011年2月22日、第85回21世紀構想研究会は、会場を創国際特許法律事務所立派なセミナー室をお借りして開催しました。



森戸祐幸さん(ユーヴィックス株式会社代表取締役社長、株式会社モリテックス創業者、元同社代表取締役会長)が「シニア・ベンチャー企業を立ち上げる～あくなき挑戦 魅力ある人生を求めて」で講演しました。

2011年9月8日 科学技術政策の振興について加藤紘一先生のご意見をうかがうため、本研究会の染谷幸雄、椋周二理事らと懇談しました。



2011年5月31日第87回21世紀構想研究会は、東日本大震災の報告シリーズとして広瀬研吉氏(内閣府本府参与、元原子力安全保安院院長)を迎えて、「そのとき政府が取り組んだ対応策」を報告してもらいました。

2011年9月13日第89回21世紀構想研究会は、山下俊一(福島県立医科大学副学長)先生が「福島原発事故と放射線健康リスク-チェルノブイリの教訓は生かされたか」のタイトルで講演し、大震災の原発事故の対応策を講演しました。



2012年2月1日第91回21世紀構想研究会は、銭谷眞美さんが「東京国立博物館その歴史と今年の開催ハイライト」を講演しました。銭谷さんは本研究会のアドバイザーであり、教育委員会委員長として全国学校給食甲子園大会を指揮しています。



2012年10月30日、第96回21世紀構想研究会は、園山玲子さん(インターモダル株式会社代表取締役社長)が「知られざる世界航空貨物の現場、どうする日本」を講演しました。世界のビジネス界が激しく動いている実情を知りました。



2013年1月25日の第98回21世紀構想研究会は、山本貴史さん(株式会社東京大学TLO代表取締役社長)が「大丈夫か日本の産学連携活動 企業再生と大学はどう連携すべきか」を講演しました。



2013年10月27日、第105回21世紀構想研究会は、伊勢神宮を正式参拝し、会員のご多幸を祈願しこれからの活動を誓いました。

南川三治郎さんの紹介で伊勢神宮の鬼門を守る寺として知られる金剛證寺を参拝し、御本尊の福威智満虚空蔵菩薩とともに、天照大神をお祀りし神仏習合の思想を見学しました。金箔で覆われた豪華絢爛の堂で記念撮影しました。



2015年3月18日、第117回21世紀構想研究会は、小玉秀男先生(特許業務法人 伏友特許事務所)が「3Dプリンターの原理を世界で初めて発明したドラマを語る」を講演しました。小玉先生は、ノーベル賞受賞候補者としても取りざたされています。



2015年1月29日、第116回21世紀構想研究会は荒井寿光先生(本会アドバイザー)の叙勲をお祝いして講演をお願いしました。「特許人生・知財人生 これからの知財を考える」とのタイトルで、いつもと変わらぬ熱弁で日本の知財改革への熱い思いを語りました。



2016年3月25日第125回21世紀構想研究会は、白川英樹博士(筑波大学名誉教授、2000年ノーベル化学賞受賞)が、「科学は日本語で考えることが重要」のタイトルで講演をしました。このテーマは非常に重要であり、大学でも講義をして反響が広がっています。打ち上げ会でも白熱の論議が続きましたが、最後に記念写真で議論にもピリオド。



2016年5月24日、第126回21世紀構想研究会は、脳出血で浴場で倒れ半身不随から奇跡の生還をした中村明子先生(東京医大兼任教授)の講演に大反響でした。主治医の小林健太郎先生(九段病院リハビリテーション科部長)の新療法がどんぴしゃり効いて、入院数日後にすたすた歩くまでに快復。小林先生との「奇跡の出会い」でもありました。



奇跡の復活を果たしたのは、本研究会の創設からのメンバーの白木学さんです。携帯電話のマナーモードを世界に普及させた超小型振動モーターの発明者です。今度はコアレスモーターで画期的な性能のモーターを発明し、再び世界へ飛び立とうとしています。



2016年6月21日、第127回21世紀構想研究会は、黒川清先生(政策研究大学院大学アカデミックフェロー・教授、元日本学術会議会長)が「規制の虜」を講演しました。

黒川先生が国会事故調を担当して強く感じたことは、リーダーには歴史観、世界観、反骨精神が必要であることだったという。歴史的に振り返ってみると、山川健次郎、朝河貫一という偉大な二人の巨人が、被災地になった福島県から出ている。二人の偉人がとった信念に裏打ちされた言動を忘れないようにしなければならない。



講演後の懇親会でも討論は続行しました。

2016年12月14日、第130回21世紀構想研究会は、経済・金融評論家の山口正洋氏(ぐっちーポスト編集長)が「トランプ後のアメリカと今後の日本経済の見通し」のタイトルで講演を行い、その後一年を締めくくる忘年パーティで盛り上がりました。国の豊かさをGDPで示した時代は過去のものであり、国連がいま試行している国の総合的な豊かさの指標を見ると日本は非常に豊かな国であることが示されていると紹介しました。そのような考えに転換していくことが重要性を指摘しました。表紙の集合写真は、その時のものです。



2017年2月2日、第131回21世紀構想研究会は「折り紙ビジネスを展開する国際特許技術移転弁理士」のタイトルで、日米で活躍する矢口太郎先生(恵泉国際特許事務所長)が着物姿でオリジナルの折り紙講演演をしてくれました。折り紙の意匠権を確立してビジネスに乗り出したもので、折り紙もビジネスにしなければ世界にひろがらないという哲学を実践しているものです。



2017年7月3日、第134回21世紀構想研究会は、秋山仁先生(数学者、東京理科大学理数教育研究センター長、同大近代資料館館長)が「勝手に帆を揚げて 定理作りの実況中継」を講義しました。折り紙にハサミを入れて数学の定理を学んだ楽しい授業でした。



## ● 21世紀構想研究会の開催経過一覧

第135回:2017年9月15日(金)	川野祐司(東洋大学経済学部教授、一般財団法人国際貿易投資研究所客員研究員)	「イギリスが選んだEU離脱の道:離脱の理由と離脱交渉の争点」
第134回:2017年7月3日(月)	秋山仁(数学者、東京理科大学理数教育研究センター長、同大近代資料館館長)	「勝手に帆を揚げて 定理作りの実況中継」
第133回:2017年5月25日(木)	新保史生(慶應義塾大学総合政策学部教授)	「AI及び自律型ロボットの普及と法的・制度的課題」
第132回:2017年3月6日(木)	石川正敏(東京大学情報理工学系研究科・研究科長)	「知能システムの未来」
第131回:2017年2月2日(木)	矢口太郎(恵泉国際特許事務所長)	「折り紙ビジネスを展開する国際特許技術移転弁理士」
第130回:2016年12月14日(水)	山口正洋(ぐっちーポスト編集長、経済金融評論家)	「トランプ後のアメリカと日本経済事情」
第129回:2016年9月8日(木)	伊藤真(伊藤塾塾長)	「日本国憲法の価値を学ぶ-自民党憲法草案の問題点に触れながら」
第128回:2016年7月19日(火)	黒木登志夫(日本学術振興会学術システム研究センター相談役、東大名誉教授)	「研究不正」
第127回:2016年6月21日(火)	黒川清(政策研究大学院大学アカデミックフェロー・教授、元日本学術会議会長)	「規制の虜」
第126回:2016年5月24日(火)	中村明子(東京医科大学兼任教授) 小林健太郎(国家公務員共済組合連合会九段病院リハビリテーション科部長)	「奇跡の生還」
第125回:2016年3月25日(金)	白川英樹(筑波大学名誉教授、2000年ノーベル化学賞受賞)	「科学は日本語で考えることが重要」
第124回:2016年2月26日(金)	永野博(OECDグローバルサイエンスフォーラム議長、研究・イノベーション学会会長、慶應義塾大学特別招聘教授)	「ドイツに学ぶ科学技術政策」
第123回:2016年1月22日(金)	安西祐一郎(独立行政法人日本学術振興会理事、前慶應義塾長)	「日本の教育と科学技術 現状と将来展望」
第122回:2015年12月16日(水)	馬場錬成(特定非営利活動法人21世紀構想研究会理事長)	「ノーベル賞授賞式現地取材報告会」
第121回:2015年10月21日(火)	柳下裕紀(株式会社Aura Lotus代表取締役社長)	「TPPは千載一遇の日本のグローバル化加速剤だ」
第120回:2015年9月29日(火)	吉海正憲(研究・技術計画学会会長、住友電気工業株式会社顧問)	「高度研究人材を育成できない日本 誰がどのようにするべきかを考える」
第119回:2015年7月27日(月)	南川三治郎(写真家)	「パリを拠点に出会った人、忘れられない瞬間」ダリ・ミロ・シャガールからジョルジュ・シムノン、グレアム・グリーン、神宮式年遷宮
第118回:2015年5月26日(火)	前澤 猛(著述業、ペンネーム:日野 健、元読売新聞論説委員)	「新聞の病理—21世紀のための検証」
第117回:2015年3月18日(水)	小玉秀男(特許業務法人 快友特許事務所)	「3Dプリンターの原理を世界で初めて発明したドラマを語る」
第116回:2015年1月29日(木)	荒井寿光(知財評論家)	「特許人生・知財人生 これからの知財を考える」
第115回:2014年12月11日(木)	黒木登志夫(日本学術振興会・学術システム研究センター相談役)	「パタゴニア紀行」
第114回:2014年11月6日(木)	柳下裕紀(株式会社Aural Lotus代表取締役社長)	「どうする日本の地方再生と企業経営 日本の価値最大化ぶ求められる重要課題」
第113回:2014年10月14日	橋本五郎(読売新聞特別編集委員・ニュースキャスター)	「安倍内閣の課題と難題」
第112回:2014年9月17日(水)	沖村憲樹氏(JST特別顧問、元JST理事長)	「アジアの青少年2000人を日本へ招聘する大戦略を展開中」
第111回:2014年7月18日(金)	外川智恵(アナウンサー・大正大学特命准教授)	「ゲームで養う会話の感覚・共感力」
第110回:2014年6月2日(月)	永野博(科学技術振興機構・研究開発戦略センター特任フェロー)	「第4の矢は若者への投資、理研神戸の出来事がプレーキをかけたはならない」
第109回:2014年4月21日(月)	中尾政之(東京大学工学系研究科教授)	「論文数・伸び悩みの理系、さっぱり文系」
第108回:2014年1月27日(月)	林原靖氏(元株式会社林原専務取締役)	「金融機関につぶされた国際優良企業林原」
第107回:2013年12月20日(金)	南川三治郎(写真家)	「日本のこころ 第62回式年遷宮」
第106回:2013年11月25日(月)	沖村憲樹氏(JST特別顧問、中国総合研究交流センター上席フェロー)	「日本の科学技術は中国に抜かれた」
第105回:2013年10月25日(金)	21世紀構想研究会・伊勢神宮正式参拝	
第104回:2013年9月20日(金)	岩本沙弓先生(大阪経済大学客員教授、金融コンサルタント、経済評論家)	「これからどうなる日本経済」
第103回:2013年7月19日(水)	秋尾常民(霊巖寺住職)	「遊び心と禅」
第102回:2013年6月11日(火)	モデレーター 橋本五郎(読売新聞東京本社・特別編集委員) パネリスト 岩本沙弓(大阪経済大学経営学部客員教授) 塩崎恭久(自民党衆議院議員、元内閣官房長官) 藤嶋 昭(東京理科大学学長、東大特別名誉教授) 柳澤幸雄(開成中学・高校校長、東大名誉教授)	100回記念シンポジウム 「希望ある日本のために何をなすべきか」
第101回:2013年5月21日(火)	生島和正(武蔵エンジニアリング株式会社代表取締役社長)	「大転換期を迎えている企業経営」
第100回:2013年4月29日(水)	佐々木信夫(株式会社特許戦略設計研究所代表取締役社長)	「安倍政権・三本の矢成長戦略と特許政策」
第99回:2013年4月19日(金)	加藤紘一(日中友好協会会長、元自民党幹事長)	「中国第6世代が考える日中未来志向」
第98回:2013年1月25日(金)	山本貴史(株式会社TLO代表取締役社長)	「大丈夫か日本の産学連携活動 企業再生と大学はどう連携すべきか」
第97回:2012年12月10日(月)	馬場錬成(21世紀構想研究会理事長)	「第7回全国学校給食甲子園大会の報告」
第96回:2012年10月30日(火)	合原亮一(株式会社ガリレオ代表取締役社長)	「合原さん家の有機農法」
第95回:2012年9月18日(火)	岡山玲子(インターモダル株式会社代表取締役社長)	「知られざる世界 航空貨物の現場どうする日本」
第94回:2012年7月9日(月)	坂口謙吾(東京理科大学総合研究機構教授)	「バイオ発電がエネルギー危機を救う」
第93回:2012年5月22日(火)	荒井寿光(東京中小企業育成株式会社代表取締役社長、21世紀構想研究会アドバイザー)	「知財立国への再構築 世界の知財動向と日本の知財進路」
第92回:2012年3月8日(木)	大村智(日本学士院会員、北里大学特別名誉教授、21世紀構想研究会アドバイザー)	「2億人を病魔から守った化学者」
第91回:2012年2月1日(水)	嶋啓祐(株式会社タウンクライヤー代表取締役)	「facebookのメリット - facebook活用セミナー」
第90回:2011年12月7日(水)	銭谷真美(東京国立博物館館長、21世紀構想研究会アドバイザー)	「東京国立博物館その歴史と今年の開催ハイライト」
第89回:2011年9月13日(金)	永野博(財団法人日本オペラ振興会理事長、政策研究大学院大学教授) 砂川涼子(藤原歌劇団ソプラノ歌手)	「心おどるオペラの世界へようこそ」
第88回:2011年7月7日(木)	山下俊一(福島県立医科大学副学長)	「福島原発事故と放射線健康リスクチェルノブリの教訓は生かされたか」
第87回:2011年5月31日(火)	千葉英之(ジャーナリスト) 宮本保彦(東北電力東京支社 副支社長 総務・広報担当) 大淵正和(東北電力東京支社 副支社長 原子力担当)	東日本大震災の報告会その3 —女川原発。その時、どうだったのか— 巨大地震・津波の被災を乗り越えた原発サイト
第86回:2011年4月25日(月)	広瀬研吉(内閣府本府参与、元原子力安全保安院院長)	東日本大震災の報告会その2 そのとき政府が取り組んだ対応策を報告
第85回:2011年2月22日(火)	佐藤門哉(元宮城県南三陸町町議) 柴田文隆(読売新聞東京本社科学部長) 伊藤崇(読売新聞東京本社科学記者)	東日本大震災の報告会その1 「九死に一生を得た体験を語る」 「そのとき報道機関はどのように取り組んだのか」
第84回:2011年2月22日(火)	森戸祐幸(ユーヴィックス株式会社代表取締役社長、株式会社モリテックス創業者、元同社代表取締役会長)	「シニア・ベンチャー企業を立ち上げる」あくなき挑戦 魅力ある人生を求めて

第84回:2010年12月21日(火)	関口博司(株式会社高速屋顧問) 長谷川芳樹(創英国際特許法律事務所所長・弁理士) 合原亮一(株式会社ガリレオ代表取締役社長)	「21世紀構想研究会メンバーで市場に殴りこんだユニークな技術成果」
第83回:2010年11月22日(月)	林幸秀(東京大学先端科学技術研究センター特認教授)	「沈没する日本の科学技術 一理科系冷遇社会」
第82回:2010年9月17日(金)	平朝彦(独立行政法人海洋研究開発機構理事)	「ちきゅう号による新しい地球像の探求メタンハイドレート 熱水鉱床 地下生命圏」
第81回:2010年7月1日(木)	福岡秀興(早稲田大学胎生期エビジェネティクス制御研究所教授)	「生活習慣病胎児期発症説からみた、これからの日本の疾病と医療構造—小さく産んで大きく育てるのは大きな誤り—」
第80回:2010年5月18日(火)	中川正春(文部科学副大臣)	「どうなる、どうする日本の科学技術行政」
第79回:2010年4月19日(月)	馬場鎌成(東京理科大学知財専門職大学院教授、21世紀構想研究会理事長)	「中国の科学技術力と知的財産権の最新動向」
第78回:2010年2月4日(木)	藤嶋昭(東京理科大学学長、日本学術会議知的財産検討分科会委員長)	「物華天宝—研究センス、雰囲気、そして感動が大切—」
第77回:2009年12月14日(月)	中村明子(慶應義塾大学薬学部客員教授)	「知らないと損するインフルエンザ対策」
第76回:2009年11月9日(月)	升永英俊(弁護士、TMI総合法律事務所)	「一人一票実現国民会議の展開」
第75回:2009年9月7日(月)	南川三治郎(写真家) 中澤律子(伊勢丹フードアテンダント)	「21世紀構想研究会納涼パーティ」 「アトリエの巨匠に会いに行く」 「オーストラリアワインの魅力」
第74回:2009年7月7日(火)	小野晋也(前衆議院議員)	「さらば国会議員、さらば永田町」
第73回:2009年5月18日(月)	21世紀構想研究会第7期総会	
第72回:2009年4月20日(月)	黒木登志夫(日本学術振興会・学術システム研究センター副所長)	「落下傘学長奮闘記」
第71回:2009年2月6日(金)	筑紫みずえ(グッドバンカー代表取締役社長)	「未曾有の経済危機を乗り越える術は何か」
第70回:2008年12月15日(月)	馬場鎌成(学校給食甲子園大会実行副委員長、21世紀構想研究会理事長)	「第3回全国学校給食甲子園大会報告」
第69回:2008年10月1日(水)	新津洋司(札幌医科大学教授)	「肝硬変なんて怖くない—画期的な再生医療を開発」
第68回:2008年7月3日(木)	笹川陽平(日本財団会長)	「たばこ一箱千円を論ず」
第67回:2008年5月12日(月)	馬場鎌成(東京理科大学知財専門職大学院教授、21世紀構想研究会理事長) 経志強(集佳知識産権代理有限公司、中国弁理士)	「激動する中国 その最新情報」
第66回:2008年2月22日(金)	中島淳(日本弁理士会会長)	「知財立国推進と弁理士活動」
第65回:2007年12月7日(金)	21世紀構想研究会教育委員会	「第2回全国学校給食甲子園大会の報告」
第64回:2007年9月20日(火)	加藤紘一(元自民党幹事長)	「緊迫する秋の政局-安倍政権のゆくえ-」
第63回:2007年7月10日(火)	宗定勇(日本知財協会専務理事)	「知識時代の研究開発」
第62回:2007年5月11日(金)	北澤宏一(科学技術振興機構理事、東大名誉教授)	「数字で見る日本の本当の実力 科学者が見た日本はどの程度の国なのか」
第61回:2007年3月13日(火)	生越由美(東京理科大学知財専門職大学院教授)	「文化産業が日本の起爆剤となる」
第60回:2006年11月7日(火)	王志強(日中経済技術コンサルタント)	「日中比較思考論-中国国民は安倍政権をどうみているのか-」
第59回:2006年8月28日(月)	加藤紘一(元自民党幹事長)	「次期首相と日本の進路」
第58回:2006年5月22日(月)	川田靖子(仏文学者)	「パリ老人病院ボランティア活動体験報告」
第57回:2006年3月2日(木)	黒木登志夫(岐阜大学学長)	「生態史観のすすめ」
第56回:2005年12月21日(火)	池上徹彦(福島県立大学学長、産業技術総合研究所理)	「日本のIT産業 その戦略と将来展望」
第55回:2005年11月2日(水)	椋周二(財団法人2005年日本国際博覧会協会事務次長)	「何故、愛・地球博は成功したのか」
第54回:2005年7月25日(月)	生島和正(武蔵エンジニアリング株式会社代表取締役社長) 染谷幸雄(株式会社日本一代表取締役社長) 白木学(株式会社シコー技研代表取締役社長)	「快進撃ベンチャー企業のわが社の戦略」
第53回:2005年5月30日(月)	経志強(中国弁理士)	「どうする中日関係—未来志向の時代を模索する」
第52回:2005年4月25日(木)	21世紀構想研究会総会	
第51回:2005年2月17日(木)	青木節子(慶應義塾大学教授) 戎崎俊一(理化学研究所情報基盤研究部長) 柴藤洋二(宇宙航空研究開発機構(JAXA)技術参与)	「どうする日本の宇宙開発」
第50回:2004年12月2日(木)	基調講演: 黒川清(日本学術会議会長)「改革のリーダーはほんとにいるのか」 モデレーター 馬場鎌成(東京理科大学知財専門職大学院教授、21世紀構想研究会理事長) パネリスト 有本建男(文部科学省科学技術・学術政策局長) 加藤紘一(衆議院議員、元自民党幹事長) 野中ともよ(ジャーナリスト) 草刈隆郎(規制改革・民間開放推進会議委員、日本郵船会長)	21世紀構想研究会・第50回記念シンポジウム 「ほんとにどうする日本改革」
第49回:2004年7月23日(金)	銭谷真美(文部科学省初等中等教育局長)	「どうする日本の初等中等教育」
第48回:2004年4月22日(木)	21世紀構想研究会総会	
第47回:2004年6月3日(金)	林崎良英(理化学研究所ゲノム科学総合センター遺伝構造機能研究グループ・プロジェクトディレクター)	「人間一人分の遺伝情報が一冊の本になった」
第46回:2004年3月5日(金)	広野道子(21LADY株式会社代表取締役社長)	「衣食住職遊学の転換を図る21世紀型ライフスタイル」
第45回:2004年1月27日(火)	吉川弘之(産業技術総合研究所理事長)	「科学技術 世界の潮流 日本の進路」
第44回:2003年12月1日(月)	谷垣禎一(財務大臣)	「これからの日本の財政・金融政策」
第43回:2003年9月19日(金)	飯島澄男(NEC特別研究員、城西大学教授)	「カーボン・ナノ・チューブの発見」
第42回:2003年7月4日(金)	黒川清(東海大学医学部教授、日本学術会議副会長)	「国のあり方を決めるのは国民だ—医療現場から見た日本改革への提言—」
第41回:2003年5月22日(木)	徳川恒孝(徳川家第18代当主、徳川記念財団理事長)	「江戸造りと将軍のリーダーシップ」
第40回:2003年3月14日(金)	丹治幹雄(株式会社メイドイン・ジャパン・ダイレクト(MIJD)社長) 赤木順彦(株式会社ガリレオ代表取締役社長)	「多言語、多通貨、インターネットで世界に発信する日本企業の製品とIR」
第39回:2003年1月17日(金)	田崎公郎(NTTアドバンステクノロジ株式会社代表取締役社長)	「IT革命の虚と実」
第38回:2002年11月1日(金)	ヘンリー 幸田(アメリカ特許弁護士)	「知的財産権実務をめぐる日米文化比較」
第37回:2002年9月13日(金)	荒井寿光(特定非営利活動法人21世紀構想研究会アドバイザー)	「知的財産戦略大綱の評価と知財基本法への期待—知財立国は日本再生の切り札—」
第36回:2002年7月4日(木)	月尾嘉男(総務省総務審議官)	「IT ハコモロ国家からの脱却」
第35回:2002年5月24日(金)	小池晃(日本弁理士会前会長)	「日本を世界一の知財立国にしよう」
第34回:2002年4月5日(金)	新井賢一(東京大学医科学研究所所長)	「ゲノム医療の最先端とバイオベンチャー」

第33回:2002年1月19日(火)	安西祐一郎(慶應義塾長)	「慶應義塾大学における改革とわが国の大学制度の将来展望」
第32回:2001年12月7日(金)	モデレーター 馬場鎌成(21世紀構想研究会理事長) パネリスト 高橋真理子(朝日新聞論説委員) 北村 行孝(読売新聞論説委員) 中村 雅美(日本経済新聞編集委員) 横山 裕道(毎日新聞論説委員)	トークショー 「ジャーナリストが振り返る2001年」
第31回:2001年10月25日(木)	カケイフン(北京銀龍専利代理有限公司董事長、総経理) ヘンリー 幸田(アメリカ特許弁護士、弁理士)	「中国の特許事情と日中特許紛争」
第30回:2001年9月14日(金)	飯村敏明(東京地方裁判所判事)	「我が国における知的財産権訴訟の実情」
第29回:2001年7月6日(金)	モデレーター 馬場鎌成(21世紀構想研究会理事長) 山本貴史(株式会社先端科学技術インキュベーションセンター社長) 清水啓助(慶應義塾大学知的資産センター長、教授) 佐々木信夫(北大先端科学技術共同研究センター客員教授) 山本眞一(筑波大学大学院研究センター長、教授)	「日本のTLO活動 現状報告と課題」
第28回:2001年5月18日(金)	加藤紘一(自民党元幹事長) 有本建男(内閣府大臣官房審官)	①「加藤政局を語り、科学技術創造立国を語る」 ②「総合科学技術会議は本当に機能するのか」
第27回:2001年3月8日(木)	畑村洋太郎(東大大学院工学系研究科教授)	「変革で築いた学問の創造」
第26回:2001年2月2日(金)	特定非営利活動法人・21世紀構想研究会設立総会	
第25回:2000年12月15日(金)	創英国際特許法律事務所 長谷川芳樹弁理士、佐藤英二弁理士、工藤莞司弁理士 吉海正憲(通産省大臣官房審議官)	「最近のトピックス」ここまできた商標権の拡大 日本と外国の多様な商標の保護の現状 / 日本での立体商標の保護の実例 / 音、匂い、パフォーマンスの商標の実例 「日本社会のアキレス腱」
第24回:2000年10月26日(金)	川合知二(大阪大学産業科学研究所教授) 寺沢計二(科学技術庁材料研究調整官) 川口幸男(通産省工業技術院産業科学技術研究開発課長)	「日米決戦の場は、ナノ・テクノロジーの研究開発だ」 ①「次世代産業革命をリードするナノ・テクノロジー」 ②「ナノ・テクノロジーの日本の行政体制」 ③「ナノ・テクノロジーの研究・開発を推進する通産省」
第23回:2000年9月8日(金)	宮原孝俊(株式会社ティー・ユー・エム研究所・代表取締役社長) 鷲津正夫(京都大学大学院工学研究科機械工学専攻・教授) 鈴木仁(株式会社アドバンス・取締役開発部長)	①「遺伝子チップの開発に挑戦する」 ②「バイオマイクロマシンで世界を変える」 ③「世界標準を勝ち取った超小型簡易電気泳動システム・ミュビッド」
第22回:2000年7月14日(金)	荒井寿光(通産省審議官)	「大丈夫か 日本の経済」
第21回:2000年5月24日(水)	加藤紘一(衆議院議員、元自民党幹事長) 利根川進(MIT教授)	①「21世紀の政治・経済・科学技術」 ②「日米研究体制の違い」
第20回:2000年3月3日(金)	秋吉仰三(株式会社モノリス代表取締役社長)	「独創技術で世界の特許戦略を考える」
第19回:2000年1月14日(金)	荒川守正(株式会社ナード研究所代表取締役会長) 山田真次郎(株式会社インクス代表取締役社長) 道正久春(日本原子力研究所広報部長) 長谷川芳樹(創英国際特許法律事務所所長、弁理士) 馬場鎌成(読売新聞論説委員)	①「技術革新と日本の進路」 ②「これからのもの作り」 ③「行政改革に取り組む」 ④「21世紀の特許戦略」 ⑤「21世紀の科学技術戦略」
第18回:1999年10月29日(金)	中西幹育(鈴木総業取締役副社長)	「独創的アイデアはこうして生まれる」
第17回:1999年10月29日(金)	田中俊一(日本原子力研究所東海研究所副所長、臨界事故調査委員) 広瀬研吉(科学技術庁原子力安全課長) 干場静夫(原子力安全委員会・原子力安全調査室長) 道正久春(日本原子力研究所広報部長) 馬場鎌成(読売新聞論説委員、臨界事故調査委員)	「臨界事故はなぜ発生したか」
第16回:1999年9月17日(金)	藤原作弥(日本銀行副総裁)	「攻守どころを変えて」
第15回:1999年7月1日(木)	有馬朗人(文部大臣、科学技術庁長官)	「21世紀の日本の科学技術」
第14回:1999年5月26日(金)	山中唯義(株式会社ベンチャーラボ代表取締役社長) 伊佐山建志(特許庁長官)	①「ベンチャーの技術評価事業の必要性和その現状」 ②「21世紀の特許戦略」
第13回:1999年3月26日(金)	道正久春(科学技術庁科学技術振興局企画課長) 馬場鎌成(読売新聞論説委員)	「科学技術立国の危機」
第12回:1999年2月5日(金)	久保 隆之(株式会社アドバンス情報事業本部長)	「インターネット時代のセキュリティ」
第11回:1998年11月27日(金)	グレゴリー・クラーク(多摩大学学長)	「強いニッポン 弱いニッポン」
第10回:1998年6月25日(木)	清川晋(ミサト株式会社代表取締役社長)	「熱力学の第二法則に魅せられた研究開発」
第9回:1998年5月22日(金)	谷垣禎一(国務大臣科学技術庁長官) 生島和正(武蔵エンジニアリング株式会社代表取締役社長)	①「日本の科学技術の目指すもの」 ②「液体小宇宙を制御する」
第8回:1998年4月24日(金)	荒井 寿光(特許庁長官) 椿森 信一(株式会社エポ代表取締役社長)	①「21世紀の知的財産権とその戦略」 ②「わが特許戦略と企業展開」
第7回:1998年3月19日(木)	吉海正憲(通産省生活産業局総務課長) 松井房樹(郵政省電気通信局電波環境課長)	①「21世紀を展望する産業政策」 ②「大変革期を迎えた電波の世界」
第6回:1998年2月13日(金)	山田真次郎(株式会社インクス代表取締役社長) 國清 芳雄(株式会社メトロ代表取締役社長)	①「コンピューター技術で世界を変える」 ②「21世紀の企業経営はこうあるべきだ」
第5回:1998年1月19日(月)	工藤治夫(工藤電機株式会社代表取締役社長) 高取 直(株式会社鷹山代表取締役社長)	「アナログ発想が世界を変える」
第4回:1997年12月12日(金)	山田 伸二(NHK解説委員) 筑紫みずえ(UBS信託銀行バイスプレジデントアドバイザー)	「金融のビッグバン 崖っぷちに立たされる日本経済」 「もう国には頼まない もう男にも頼まない」
第3回:1997年11月14日(金)	荒川守正・株式会社ナード研究所代表取締役会長 広瀬克利・神戸天然物化学株式会社 代表取締役社長	「化学分野の新技術開発と経営思想」
第2回:1997年10月24日(金)	道正久春(科学技術庁科学技術振興局企画課長) コメンテーター 浦壁伸周(株式会社アドバンス代表取締役社長)	「科学技術行政は、何をもとにどこを向いて決定するのか」
第1回:1997年9月26日(金)	杉本昭寿(有限会社みかづき文化会館代表取締役社長) 渡辺望稔(い・おん特許事務所所長、弁理士会副会長)	「大企業の野望を砕いた独創的アイデアと特許戦略」

## 3つの分科会活動

21世紀構想研究会には現在、知的財産委員会(荒井寿光委員長)、教育委員会(銭谷眞美委員長)、生命科学委員会(黒木登志夫委員長)の3つの分科会があります。

知的財産委員会は、荒井委員長のリーダーシップのもとに、知財の制度の在り方や世界の動向を研究する会です。最近の中国の知財制度の急速な進展を受け、JST元理事長の沖村憲樹アドバイザーの肝いりで中国知財戦略研究会(荒井寿光会長)が設置され、本研究会の会員も参加しました。2017年3月には報告書を刊行して大きな反響がありました。

教育委員会は、2005年の食育基本法設置、栄養教諭制度の発足をとらえて、2006年から学校給食甲子園を創設しました。食育の中心は学校給食にあるため、その推進と理解度を深めることが狙いでした。毎年、2000人以上の栄養教諭、学校栄養職員から応募があり、学校給食関係者の間では知らない人がいないくらい、知名度が上がっています。

生命科学委員会は、ゲノム関連の急速な研究進展を紹介する一方、黒木委員長の「研究不正」の特別講演では、大きな反響がありました。

### 1 知的財産委員会

荒井寿光委員長を中心に集まった有志が日本の知財制度の改革や国際的な知財の動きを調べて発表し討論する委員会です。多数の講師をお招きして多くの知財情報を交換しています。

また、2017年11月には、JST中国総合研究交流センターで中国知財戦略研究会(荒井寿光会長)が組織されましたが、21世紀構想研究会から多くのメンバーが協力し、資料収集や分析に貢献しました。



2015年6月4日開催された知財委員会は、三村量一弁護士を講師にして討論しました。

#### ●知的財産委員会の開催経過

期日	発表者など	テーマ	
2013年	9月30日	自由討議	「知財戦略について」これからの課題
	10月7日	依久井祐(大手電機メーカー役員)	「もうひとつのチャイナリスク」
	10月18日	自由討議	「知財戦略について」課題と取り組み
	11月18日	日高賢治(日高東亜国際特許事務所所長・弁理士)	「日本の知財戦略の問題点と知財改革への提言」
	12月19日	川上敏寛(経済産業省経済産業政策局知的財産政策室知的財産政策室長)	「営業秘密の保護」
2014年	1月28日	佐々木信夫(株式会社特許戦略設計研究所代表取締役社長・弁理士)	「産業を革新するための特許法改正案」
	2月17日	八木雅浩(国際原子力機関原子力エネルギー局上級原子力技術官)	「核拡散防止の観点から現行特許制度の問題点と対応策」
	3月17日	自由討議	「知財司法の改革について」-侵害し得を許さないために
	4月16日	生越由美(東京理科大学知財専門職大学院教授)	「農林水産分野における知的財産の現状と課題」
	5月27日	長谷川芳樹(創英国際特許法律事務所所長・弁理士)	「TPPと日本の知財問題について考える」
	6月17日	原田雅章(原田雅章知財事務所所長・弁理士)	「税関の活動について」
	7月8日	阿部洸三(TMI総合法律事務所・弁護士)	「知的財産委員会暑気払いセミナー」
	10月21日	長谷川芳樹(創英国際特許法律事務所所長・弁理士) 馬場鎌成(21世紀構想研究会理事長)	「特許庁審査の品質管理に関する調査報告」 「中村修二先生の職務発明問題」
	11月19日	石塚利博(日立ハイテクノロジーズ主管技師・部長相当)	「知財活動の分析」
	12月24日	角田芳未(信友国際特許事務所所長・弁理士)	「特許庁の年次行政報告書を読み解く」
2015年	3月24日	長谷川芳樹(創英国際特許法律事務所所長・弁理士) 平野裕之(創英国際特許法律事務所・弁理士)	「特許庁審査体制について」と「侵害訴訟の判例について」
	4月22日	川上正隆(青山学院大学大学院教授)	「ビッグデータ保護についての知財法からのアプローチ」
	6月4日	三村量一(長島・大野・常松法律事務所パートナー・弁護士)	「(実用目的の)『応用美術』が著作物として保護されるか?」
	9月25日	若林拓朗(先端科学技術エンタープライズ株式会社社長)	「大学発ベンチャーの現状と課題について」
	10月20日	佐々木信夫(株式会社特許戦略設計研究所代表取締役社長・弁理士)	「ポストTPPの特許課題」
	12月22日	生越由美(東京理科大学知財専門職大学院教授)	「知的財産委員会・忘年会セミナーin 鹿児島館」
2016年	1月28日	原田雅章(原田雅章知財事務所所長・弁理士) 原田亘康(ISSEY MIYAKE INC.総務部部長・知的財産担当)	「三宅一先生「BAO BAO」のニセモノ対策の戦略について」
	2月19日	自由討議	「知財戦略について」
	3月15日	山田繁和(特許庁・意匠課長)	「意匠の現状と課題」
	5月16日	志賀信夫(住友電工研究統括本部・パワーシステム研究開発センター技師長、工学博士)	「フロー電池の国際標準化活動 ~主導権確保への戦略的取り組み」
	6月3日	本間友孝(JETRO北京事務所・知識産権部部長)	「中国の知財の実態」
2017年	7月28日	石川晃(弁理士)(TRY国際特許業務法人代表)	「中国の知財侵害の賠償金制度について」
	9月25日	長谷川芳樹(創英国際特許法律事務所所長・弁理士) 平野裕之(創英国際特許法律事務所・弁理士)	「特許庁審査体制について」

## 2 教育委員会と学校給食甲子園

#### ●教育委員会と学校給食甲子園

2005年の食育基本法の制定、栄養教諭制度の設置を受けた形で、教育委員会は全国学校給食甲子園を創設しました。これは食育推進の一環として学校給食の調理コンテスト、食育シンポジウム、食育ワークショップなどの開催を目指したものでした。

学校給食甲子園は、近年は2000を超える学校栄養士から応募があり、2017年は12回目を迎えます。これまでの経過を報告します。

#### ●第1回(2006年)から11回(2016年)大会までの優勝・準優勝した学校栄養士と調理員

開催回	優勝			準優勝		
	都道府県	施設名	栄養教諭調理員	都道府県	施設名	栄養教諭調理員
1	長野県	長谷学校給食共同調理場	埋橋 恵美 松本 ひろみ	香川県	高松市立国分寺中学校	三宅 律子 宮崎 茂美
2	千葉県	匝瑳市野菜学校給食センター	秋山 真理子 小川 徳子	滋賀県	守山市立守山小学校	廣田 美佐子 井上 宏子
3	岐阜県	多治見市共栄調理場	松原 恵子 水野 はるみ	鹿児島県	出水市立米ノ津東小学校	神 順子 岩崎 由美子
4	新潟県	上越市立春日新田小学校	宮澤 富美子 植木 節子	和歌山県	和歌山市立有功小学校	高橋 啓子 倉八 由佳
5	岐阜県	郡上市白鳥学校給食センター	白瀧 芳美 見付 清美	富山県	砺波市学校給食センター	亀ヶ谷 昭子 山田久美子
6	和歌山県	和歌山市立名草小学校	土井 登世 山中 恭子	高知県	大月町立大月中学校	野坂 なつこ 安岡 千冬
7	愛知県	西尾市立西尾中学校	富田 直美 三浦 康子	和歌山県	和歌山市立名草小学校	土井 登世 山中 恭子
8	東京都	文京区立青柳小学校	松丸 奨 大野 雅代	香川県	高松市立国分寺北部小学校	下岡 純子 香川 由希子
9	秋田県	藤里町学校給食センター	津谷 早苗 桂田 尚子	東京都	文京区青柳小学校	松丸 奨 石川 絢華
10	群馬県	みなかみ町夜野学校給食センター	本間 ナフミ 山岸 丈美	秋田県	上小阿仁村学校給食調理場	細田 智子 村田 淳子
11	北海道	足寄町学校給食センター	吉田 美優 廣田 裕美	京都府	宇治原町立学校給食共同調理場	山西 奈津子 井山 陽子

学校栄養士(栄養教諭および学校栄養職員)と調理員がコンビを組んで献立を調理するコンテストですが、毎年、大熱戦を展開し、全国の学校給食関係者が手に汗を握って応援しています。

大会当日は、インターネットで実況中継が行われ、表彰式での感動的なシーンも全国に実況されています。研究会会員の皆様は主催者として是非、ご覧ください。2017年12月2日、3日開催の大会は、テレビ番組が制作される予定です。

#### ●応募数の多いトップ20県

順位		12回	11回	10回	9回	8回	7回	6回	5回	4回	3回	2回	1回	合計
1	長崎県	129	134	132	131	112	121	113	125	116	80	67	30	1290
2	新潟県	163	174	181	174	179	227	35	21	22	26	16	46	1264
3	鹿児島県	108	118	117	129	136	140	142	147	13	24	14	39	1127
4	岐阜県	6	13	25	58	56	90	142	152	145	151	190	41	1069
5	香川県	83	78	83	87	91	95	95	93	95	89	94	21	1004
6	宮崎県	119	113	111	119	116	109	96	24	13	19	12	17	868
7	長野県	78	92	89	95	68	69	74	60	55	51	30	55	816
8	茨城県	71	80	73	62	65	71	71	74	165	27	20	11	790
9	秋田県	71	76	74	85	78	66	75	28	27	29	27	30	666
10	愛媛県	71	59	54	70	73	74	61	71	28	22	23	34	640
11	愛知県	56	59	59	59	39	44	47	41	46	34	38	77	599
12	千葉県	55	52	57	56	51	59	62	11	10	27	42	116	598
13	佐賀県	69	78	84	85	79	32	30	28	27	21	39	17	589
14	広島県	69	76	39	44	68	79	55	57	12	21	9	11	540
15	岡山県	53	50	51	62	64	60	49	50	39	20	16	22	536
16	福井県	78	86	68	74	77	19	29	24	23	11	6	14	509
17	静岡県	33	21	29	24	51	55	59	53	44	37	30	72	508
18	沖縄県	62	44	54	36	50	64	47	47	37	19	14	11	485
19	北海道	12	4	11	17	44	52	81	74	67	33	15	46	456
20	徳島県	46	54	55	55	60	60	48	15	14	10	5	25	447

●21世紀構想研究会特別賞を授与

毎回、優勝・準優勝に次ぐ21世紀構想研究会特別賞を授与しています。優勝と紙一重の優秀成績であり、賞状と盾を授与しています。

21世紀構想研究会特別賞を授与された施設と学校栄養士と調理員と献立の取り組み

開催回	受賞施設	学校栄養士と調理員	献立の取り組み
1	石川県加賀市立錦城中学校	山崎 真弓、高木 康子	旬の地元食材で洗練された加賀の食文化を伝える
2	北海道江別市立学校給食センター対雁調理場	菊地 恵美子、諏佐 久美子	地元の大地の恵みが詰まった「大豆パワーたっぷりトマトシチュー」
3	香川県高松市立国分寺北部小学校	下岡 純子、間嶋 みどり	「いんせきだんご」は町の自慢料理。さぬき菜は、広島菜と野沢菜から生まれた新しい野菜
4	青森県青森市立油川小学校	長沼裕美子、工藤一史	陸奥湾産「はたて」に県産牛すき焼き煮で実現する安心・安全給食
5	鳥取県三朝(みささ)町調理センター	山下 恵、山根 里美	四季折々の食材提供支え、地域が一体で子供を育てる学校給食理念
6	岐阜県海津市立学校給食センター	山崎 香代、大倉 寿美恵	五感を使ってふるさとの食材に親しみ、郷土愛を育む学校給食
7	栃木県宇都宮市立田原中学校	塚原 治子、木村 雅恵	「しもつかれ」は栃木県の郷土料理の代表。栃木県が開発した「ヤシオマス」を使用
8	群馬県昭和村学校給食センター	根岸仁美、城戸美雪	赤城山のふもとは広大な畑が広がり「野菜王国しょうわ村」を合言葉に
9	福井県福井市大東中学校	田中 範子、中嶋 恵子	「夏バテ知らずのおみそ汁」は、福井県の伝統食である呉汁
10	鳥根県江津市立桜江学校給食センター	山田 菜穂子、柳光真由美	万葉のロマンを味わってもらえる地元の特産物をふだんに使用した献立
11	奈良県宇陀市立学校給食センター	内藤 瞳、宇良章子	かきたま汁は、地元のさといもと吉野ぐずを加えているため優しい口当たり



第11回大会の特別賞を受賞した奈良県宇陀市立学校給食センターの選手を囲んで記念撮影。

学校給食甲子園が開催されている時間、このお二人の名コンビの解説でインターネット実況中継。全国の学校給食関係者が注視。写真の左が文部科学省の前食育調査官の濱田有希先生、右が本研究会会員の外川智恵・大正大学表現学部准教授です。



写真左は、深紅の大優勝旗。この大優勝旗を目指して熱い闘いが毎年展開されています。写真下は、大優勝旗を寄贈した株式会社日本一の染谷幸雄社長が21世紀構想研究会特別賞の盾を授与しています。第2回大会でした。



全国学校給食甲子園大会の開催では、本会会員の香川明夫・女子栄養大学理事長・学長(写真左から二人目)の手厚いご支援をいただき、毎回、滞りなく開催しています。第11回大会で女子栄養大学特別賞を受賞した富山県魚津市立学校給食センターの関口暁子栄養教諭、安部徹調理員を囲んで記念撮影です。

2009年11月8日、第4回全国学校給食甲子園大会の優勝は、新潟県上越市立春日新田小の富澤富美子栄養教諭、植木節子調理員の頭上に輝きました。全国学校給食甲子園大会の歴代優勝者の中でも献立の出来栄とともに、出色の名コンビでした。栄冠を獲得後メディアに取り囲まれる二人です。



2006年11月5日、第一回全国学校給食甲子園大会は、長野県伊那市長谷学校給食共同調理場の埋橋恵美・栄養教諭(写真後列右から2人目)が選手宣誓から1時間後に優勝をもち取る離れ業をやって話題になりました。地元に戻れば、松本ひろみ調理員(後列真ん中)と2人は、学校給食に地元産物を供給する人々に取り囲まれ祝福を浴びました。写真は伊那市の広報に掲載されたものです。



2014年7月9日、第55回全国栄養教諭・学校栄養職員研究大会シンポジウムに馬場理事長が登壇。文部科学省の「今後の学校における食育の在り方に関する有識者会議」の座長として取りまとめた報告書を紹介しました。また学校給食や食育について、メディアとの連携やインターネット等を活用して、国内外に向けて積極的に発信していくことの必要性や発信方法について意見を述べました。



2015年7月22日、23日、学校給食甲子園10周年記念ワークショップを東京・銀座の東京ガススタジオで開催しました。「つくってみよう!学校給食メニュー～食育も一緒に学んだよ～」に親子で参加し、白井ひで子栄養教諭の指導で給食作り挑戦しました。



2016年7月30日、「学校給食から発信する日本のSHOKUIKU」のシンポジウムを開催。全国から学校給食関係者が参加して講演と討論で充実した時間をもちました。

2016年12月4日、第11回大会優勝は北海道足寄町学校給食センターの栄養教諭・吉田美優さん(右から2人目)と調理員の廣田裕美さんを囲んで記念撮影。左端は特別審査委員の川邊哲司・株式会社久原本家グループ本社社長、右端は銭谷真美・学校給食甲子園実行委員長・審査委員長。



2017年6月9日、東京都中央区立明正小学校で、特別に学校給食を食べる会をしてくれました。この日は同校の学校栄養職員、井上祐子先生の献立のキーマカレーをいただきました。永野、塚本両副理事長も参加し、童心に返って大喜びでした。



### 3 生命科学委員会

生命科学委員会は、東中川徹先生(早稲田大学名誉教授、発生学の権威)を委員長に、専門性のあるテーマについて講演と討論を行いました。回数は少ないものの、毎回、学術的な内容を学ぶ機会となっています。途中で黒木登志夫委員長に代わりましたが、委員長自ら直近の話題テーマを発表しながら、討論を行ってきました。

2002年9月30日	「遺伝子から見たがん研究」	太田力	国立がんセンター研究所腫瘍ゲノム解析情報研究所室長
2004年3月1日	「鞭毛運動の機能解明を目指して研究の紹介と研究を通して感じていること」	真行寺千佳子	東京大学大学院理学系科学生物学専攻助教授
2004年10月1日	「人工心臓、人工臓器で寿命は125年そこまで人は生きる」	梅津光生	早稲田大学理工学部教授
2014年5月19日	「幹細胞研究の光と影 —Hop STAP Drop—」	黒木登志夫	日本学術振興会、東京大学名誉教授
2015年7月2日	「iPS細胞 不可能を可能にした細胞」	黒木登志夫	日本学術振興会、東京大学名誉教授
2016年3月28日	「日本人の腸内細菌叢の生態と機能」	服部正平	早稲田大学 理工学術院 先進理工学研究科
2016年7月19日	「研究不正」	黒木登志夫	日本学術振興会、東京大学名誉教授



2016年7月19日の「研究不正」は、同名の中公新書でも話題となり、日本が「不正大国」であることを初めて知りました。近く、イギリスから英語本として刊行されます。



2016年3月28日は、早稲田大学の服部正平教授が「日本人の腸内細菌叢の生態と機能」について講演し、知られざる体内の宇宙観を語ってくれました。講演後の討論も活発に展開されました。

### エネルギー関係の研究会

日本のエネルギー問題を議論する場としてエネルギー委員会を設置しました。ジャーナリストの千葉英之さんを委員長に、エネルギー問題について勉強したり、東北電力女川原発や青森県六ヶ所原燃サイクル施設の見学などを行い、見聞を広げました。

その後委員会は、平朝彦先生(独立行政法人海洋研究開発機構理事)を委員長にメタンハイドレート実用化委員会と名前を変え、日本近海に眠る莫大なメタンハイドレートを実用化するための研究会を開きました。

これは本会会員の杉本昭寿さん(株式会社みかづき代表取締役社長)が発明した、深海に眠るメタンハイドレートを地上に汲みだして実用化を図るといふ壮大な計画を実現する道筋を検討する委員会でした。一定の目的を果たし、いまは杉本さんが政府機関のプロジェクトに参加するなど、実現に熱意をもって取り組んでいます。



2012年12月6日に開催されたメタンハイドレート実用化委員会

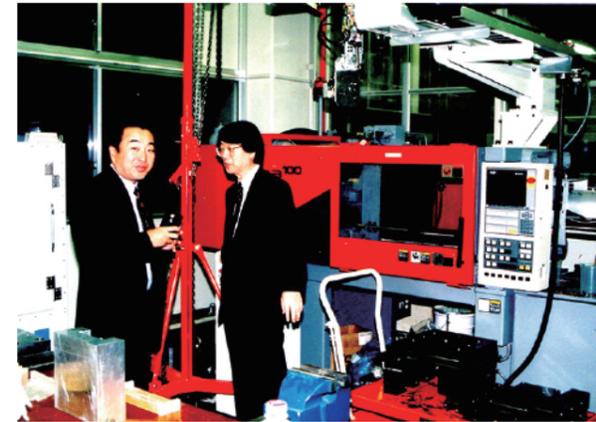
2002年2月21日	「グローバルな視野から日本のエネルギー安全保障を考える」 深海博明(慶応大学名誉教授)
2002年4月24日	「大丈夫か?脱原子力の電力供給~最新のヨーロッパ電力事情」 岸本康(エネルギージャーナリスト、元共同通信論説副委員長)
2010年9月17日	「ちきゅう」号による新しい地球像の探求 ~メタンハイドレート 熱水鉱床地下生命圏~ 平朝彦(独立行政法人海洋研究開発機構理事)
2012年12月6日	1. 「地球規模の環境変動、生命の起源、海底資源とメタンハイドレート」 平朝彦(メタンハイドレート実用化研究委員会委員長) 2. 「総合特区制度への応募申請書の解説と今後の熟度向上への課題」 鈴木朝夫(高知県宇宙利用推進研究会、高知工大・東工大名誉教授) 3. 「海底に眠るメタンハイドレート回収の技術的解決策について」 杉本昭寿(株式会社みかづき代表取締役社長) 4. 情報交換及び討論

### 特別活動

会員の見聞を広げながら親睦を図る目的で、様々な特別活動を展開しました。会員のインクスの山田眞次郎社長の主張する情報工業化の現場を見たり、原発施設を見学しました。また、中国の急進的な発展を見るために上海と北京で現地の生活ぶりや産業現場を見る機会がありました。

初めてのサテライトシンポジウムとして秋田市でシンポジウムを開催して盛況でした。ただ、地方でのシンポジウムは、予算獲得が難しく、課題も残りました。

1998年4月25日 インクスに見る情報工業化の現状見学会を開きました。山田眞次郎社長(写真左)から来るべき21世紀の産業現場の変革のレクチャーを受け衝撃を受けました。山田社長の言うとおりに世界は変革しています。



1998年7月27日 荒井寿光特許庁長官退官お祝い会。長官を2年間務め、惜まれて退官した荒井さんを囲むため、21世紀構想研究会有志が集まりました。あの日あの時も今も同じ同志です。



特許庁の長官スタッフとして仕事を支えた生越由美さん(現東京理科大学大学院教授)から退官お祝いの花束贈呈でした。知財同志として21世紀構想研究会知財委員会でいまでも戦略論議を交わしています。

1998年11月6日 東北電力女川原発を見学しました。巨大な施設を見たり、稼働中の原発も見学できました。原発は先の震災で大きな転機を迎えているのですが、世界の中で日本だけ原発エネルギーにしがみついているように見えます。



2011年8月25日、大震災で生き残った女川原発を見学に行きました。原発棟の玄関先まで津波が押し寄せてきましたが、津波襲来を予想して建設していたため、難を逃れた実情を聞きました。



1999年4月17日 株式会社エポの榎森信一社長の紹介で京都ベンチャー企業見学・交流会を開催しました。ベンチャー魂にあふれる京都の企業を見学し、伝統的な京都の文化にも触れました。翌日は念願の保津川下りです。折からの嵐の中で決行しました。写真は、雨が上がったところです。お顔の判別が難しいのが残念です。



2000年11月18日、株式会社シコー技研の白木学社長の招待で、上海の現地法人、思考有限公司を見学しました。当時シコー技研は、携帯電話に使用されている振動モーターの世界シェア70%を持っており、その主力工場を見学して産業現場の変転ぶりを見ました。「中国の躍進と21世紀の日本」のタイトルで白木社長が講演。その後、驚異的に発展する上海市を見学しました。



2000年4月7日、長野県上田市の株式会社ガリレオを訪問。赤木順彦社長からユビキタス時代のビジネス展開を聞きました。写真右は、赤木社長、左は武蔵エンジニアリング株式会社の生島和正社長。赤木社長は、2008年10月4日、43歳の若さで急逝しました。このお二人は21世紀構想研究会草創期から支えてくれた大恩人です。



2000年4月8日、長野県上田市訪問の翌日は、「かてんぱん」で知られる伊那食品工業株式会社を訪問して塚越英弘社長から経営戦略をうかがいました。



2002年5月28日、青森県六ヶ所原燃サイクル施設、岩屋ウインドファーム、東通原発の建設現場などを視察しました。原燃サイクルの状況を見学しましたが、原発の稼働の難しさを感じました。



2004年2月27日、「中国市民生活を視察」。中国の消費生活を見るため北京のデパート、スーパーを見学しました。家庭訪問をして市民生活を体験したり、ニセモノ市場を見学し中国の工業技術力を見ることができました。

秀水市場、紅橋市場などニセモノメッカとなっていた現場を見学しましたが、率先してニセモノを購入する「熱気」が、21世紀構想研究会を支えるエネルギーになっていました



2006年3月3日 「創英国際特許法律事務所 創業20周年記念 創英フェア」に会員が大挙参加しました。日本を代表する特許事務所に成長するエネルギーをもらいました。



## 東京理科大学と共催で知財セミナーを開催

### ●東京理科大学知財専門職大学院(MIP)と共催の知財セミナーを21回開催

東京理科大学知財専門職大学院と共催で知財セミナーを21回開催しました。多くの知財専門家を講師に迎えて講演後に討論を行い、MIP院生の修士論文にも活用されました。

### ●知財セミナーの開催経過

期日	テーマ	講師
2005年	10月28日(金) 実務上から見た中国知財戦略の取り組み	経志强・中国弁理士(北京・集佳知識社会産権局代理有限公司副所長)
	11月18日(金) 食品業界の知財戦略	杉崎宏光(味の素株式会社理事・知的財産センター長)
	12月9日(金) 踊るコンテンツビジネスの未来	久保雅一(小学館 キャラクター事業センター センター長)
2006年	1月27日(金) 攻めと守りの特許戦略	丸島儀一(東京理科大学知財専門職大学院教授、元キヤノン専務取締役)
	3月17日(金) 世界に羽ばたくベンチャー企業の知財戦略	渡邊一枝(デンエンチョウフ・ロマン代表取締役) 渡邊法比古(専務取締役)
	5月12日(金) 武田薬品工業の知財戦略	秋元浩(武田薬品工業株式会社 常務取締役)
	7月14日(金) シネマ歌舞伎を観賞し、伝統文化の知財保護を考える	土田真樹(松竹シネマ歌舞伎プロデューサー)シネマ歌舞伎『野田版鼠小僧』『鶯娘』鑑賞
	10月20日(金) 知財高裁発足から1年半 知財の司法現場からの報告	三村量一(知財高裁裁判官)
2007年	11月24日(金) 超過利益の一部を発明者に分配する制度の確立	升永英俊(東京永和法律事務所所長・弁護士)
	1月27日(金) どうする日本の国際標準戦略	小島康壽(経済産業省・産業技術環境局長)
2008年	10月26日(金) 「国際技術移転で求められる資質―日米間の国際技術移転・連携を妨げる見えない障壁を超えるには―」	矢口太郎(日米弁理士、東泉国際特許・法律事務所グループ代表)
	4月18日(金) 「失敗したベンチャー企業経営の全てを語る―その原因を冷静に検証し次のステップへ役立てたい―」	関口博司(元リンガマスター株式会社・社長)
	5月30日(金) 中国での商標登録による日本企業との紛争～突然、中国税関で輸出差止とならないための方策はあるか～	羊建中(中国弁理士・弁理士)、原田雅章(弁理士)
2009年	7月11日(金) 「商標をめぐる最近の国際的な動向を考える」～中国だけではなく商標をめぐる諸問題～	羊建中(中国弁理士・弁理士)、原田雅章(弁理士)、特許庁
	6月5日(金) 「枝豆特許戦争の真相」	松村直幹(元ニチロ専務取締役)
2010年	11月13日(金) わかりやすい「マーケティング」～商品開発と知的財産～	松村直幹(元ニチロ専務取締役)
	1月22日(金) 「世界初の酸化チタン光触媒の発見と知的財産権」	藤嶋昭(東京理科大学学長、日本学術会議知的財産検討分科会委員長)
	7月23日(金) 中国特許審査基準から見た出願実務～さる2月1日から施行された中国特許審査基準の解説と実務上のポイント～	韓明星(北京銘碩国際特許事務所所長) 西島孝喜(弁理士、中村合同特許法律事務所パートナー)
2011年	12月3日(金) 知財で勝ってグローバル市場で勝てない日本企業	小川絃一(東京大学総括プロジェクト機構、知的資産経営総括寄附講座 特任教授)
	2月25日(金) ケールジャパンの危機 ～アメリカからの報告～	笹沢教一(読売新聞東京本社編集局科学部デスク)
2012年	11月30日(金) 「宇都宮餃子の成功の秘密～地域資源の先駆的活用事例～」	沼尾博行(宇都宮餃子永久大使、元宇都宮市商工部長)



2010年1月22日 第12回知財セミナー  
「世界初の酸化チタン光触媒の発見と知的財産権」の講師・藤嶋昭東京理科大学学長



2011年2月25日 第20回知財セミナー  
「ケールジャパンの危機～アメリカからの報告～」の講師・笹沢教一先生(読売新聞科学部デスク)

100回記念のサテライトシンポジウムを秋田市で開催

2014年6月14日、秋田市でシンポジウムを開催し、多くの秋田県人と交流をしました。

パネリスト(順不同、敬称略)

- 銭谷眞美(東京国立博物館館長、元文部科学省事務次官、21世紀構想研究会アドバイザー)
- 三浦廣巳(秋田商工会議所会頭)
- 吉村 昇(秋田大学学長)
- 生越由美(東京理科大学知財専門職大学院教授、21世紀構想研究会理事)

モデレーター

橋本五郎(読売新聞特別編集委員、ニュースキャスター、21世紀構想研究会理事)

**秋田シンポジウム**  
テーマ「飛びだせ世界へ秋田県」

このたび特定非営利活動法人21世紀構想研究会は、秋田市でシンポジウムを開催いたします。21世紀構想研究会は、タイムリーなテーマを研究・討論し、政策提言策定として東京を拠点に活動している団体です。今回は、地域活性化を支援する目的のもとに元気の出る秋田県を舞台にシンポジウムを開催し、経済活動だけでなく伝統的な職人の仕事や文化など多様な場面での活動によって、秋田県から日本全体へ波及するように願っています。

主催 特定非営利活動法人21世紀構想研究会 <http://www.kosoken.org/>  
後援 秋田県、秋田市、秋田県市長会、秋田商工会議所、秋田県中心企業団体中央会、秋田銀行、北都銀行、秋田信用金庫、秋田新聞社、秋田放送、A&A秋田朝日放送、エフエム秋田、秋田県民会館、秋田県民会館、(5月14日現在)  
協賛 株式会社日本一、武蔵エンジニアリング株式会社、秋田精工株式会社、秋田銀行、北都銀行、秋田信用金庫、A&A秋田朝日放送、工業振興株式会社、株式会社リノ、いぬい物産事務所、ユークラス株式会社、一般財団法人秋田県行政推進センター、秋田県特許法律事務所、バイオエニックス株式会社、株式会社グッドリカー (5月14日現在)

開催日時 6月14日(土) 開場1時半  
シンポジウム:午後2時~同4時  
開催場所 秋田キャッスルホテル 4階(失物) 秋田市中通1-35 Tel018-834-1141 (<http://www.castle-hotel.jp/>)

入場無料(申し込み先着200名まで)

シンポジウム終了後、キャッスルホテル「アオーラ」で懇親会を開催します。自由参加、会費2000円、飲み物と簡単なオードブル、スナックなど。

**モデレーター**  
橋本五郎(読売新聞特別編集委員、ニュースキャスター、21世紀構想研究会理事)

**パネリスト**(順不同、敬称略)  
銭谷眞美(東京国立博物館館長、元文部科学省事務次官、21世紀構想研究会アドバイザー)  
三浦廣巳(秋田商工会議所会頭)  
吉村 昇(東北公益文科大学学長、前秋田大学学長、秋田大学学術顧問)  
生越由美(東京理科大学知財専門職大学院教授、21世紀構想研究会理事)

**橋本五郎**  
(読売新聞特別編集委員、ニュースキャスター)  
1946年生まれ。1970年、慶應義塾大学法学部政治学科卒。読売新聞編集委員、政治部長、編集局長などを歴任。読売新聞編集委員を経て現在同特別編集委員、日本テレビキャスター。NHK中央放送番組審議会委員。2014年日本記者クラブ受賞。座右の銘:「誠心誠意」

**三浦廣巳**  
(秋田商工会議所会頭、秋田日産自動車会長)  
1951年1月1日生まれ。日本大学理工学部機械工学科卒。秋田日産自動車社長、会長。三浦農学会長。秋田商工会議所会頭、秋田商工会議所会会長。NHKふるさと、秋田市文化賞(社会文化)などで表彰。座右の銘:「願望、汝を玉にす」、「修己治人」

**銭谷眞美**  
(東京国立博物館館長)  
1973年、文部省入省(大学学術国際学術課)。大臣官房審議官、内閣審議官、文化庁次長。03年月文部科学省生涯学習政策局長、初等中等教育局長、文部科学省事務次官。09年8月より東京国立博物館館長。座右の銘:「汝何のためにそこにありや」

**吉村 昇**  
(東北公益文科大学学長、前秋田大学学長)  
1943年新潟生まれ。69年秋田大学大学院鉱山工学研究科修了。米国クラークソン工科大学委員研究員、秋田大学鉱山工学部教授。工学資源学部長を経て秋田大学学長。2014年4月から東北公益文科大学学長、秋田大学学術顧問。座右の銘:「夢と目標をもって挑戦する」

**生越由美**  
(東京理科大学知財専門職大学院教授)  
1982年に東京理科大学美術学部、経済産業省の特許学士入学。2003年から読売新聞大学院大学の助教授を経て、東京理科大学知財専門職大学院教授。政府の各種委員を務める。座右の銘:「一期一会」、「日々感謝、日々努力、日々反省」



橋本五郎さんを囲んで21世紀構想研究会の美女軍団

2015年6月15日、秋田シンポジウムの翌日は、株式会社日本一の秋田工場を見学。完璧な衛生管理で取り組む焼き鳥の半自動生産現場は見事でした。また地元の人材を活用する人事管理も地方の活性化を考えたもので納得しました。



株式会社日本一の秋田工場を訪問して、地方創生で頑張る経営戦略を聞きました



秋田シンポジウムの翌日は楽しい秋田市周辺の視察ツアーでした。



2015年6月14日 100回記念として秋田でシンポジウムを開催。テーマは「飛びだせ世界へ秋田県」で、会場は満杯となりました。討論の中で「手を引っ張る岩手県、足を引っ張る秋田県」という発言も飛び出し、インパクトのある内容でした。シンポジウム終了後の懇親会も、多くの秋田県人と交流して語り合いました。

往時を思い出させるシーンを今ひとたび

2013年10月27日、南川三治郎先生の特別の計らいで伊勢神宮への参拝を前に五十鈴川にかかる宇治橋の近くで記念撮影をしました。清流に心を洗われ日常の世界から神聖な世界へと入っていきました。



2013年10月27日、伊勢神宮を参拝した後、ホテルで楽しい宴となりました。写真で見ると、参拝後の皆さんのお顔は晴々としており21世紀構想研究会のエネルギーを感じさせる写真です。



2014年7月24日、第111回21世紀構想研究会は「ゲームで養う会話の感覚・共感力」を外川智恵さん(東京FMシンフォニアナビゲーター)がワークショップスタイルで開催。終了後の記念写真です。



1999年4月17日の京都ベンチャー企業訪問ツアーは、盛り上がりしました。左が全員集合写真で、二次会のカラオケでは右の写真のように異色のデュエットで喝采を浴びました。



マイクを持つのは工藤電機株式会社の工藤治夫会長。隣りは21世紀構想研究会のマドンナ・筑紫みづえさん。



2000年4月8日の上田市見学会では、写真のように夜になると楽しい時間を過ごしました。みんな、若かった!



2004年2月27日の極寒の北京訪問は、名ガイドの邢鋼さんの案内で普通のツアーでは体験できない案内を受けました。民家を訪問して麻雀をしたり家庭料理をご馳走になりました。



## 大村智先生がノーベル賞を受賞

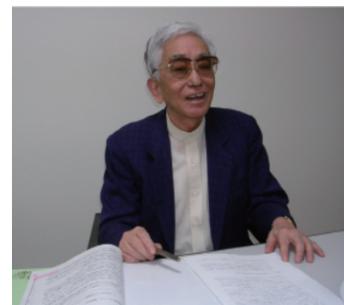
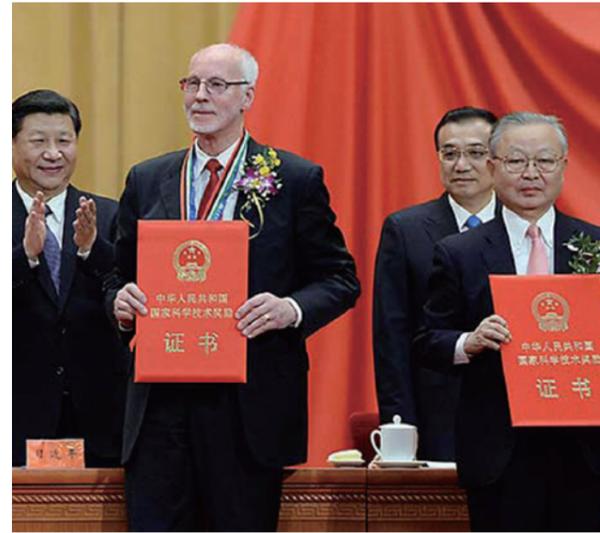
2012年から研究会のアドバイザーとして講演もいただいた大村智先生が、2015年のノーベル生理学・医学賞を受賞する快挙でした。写真は、ノーベル財団の理事室でノーベル賞のメダルと賞金を受領する書面にサインする歴史的な光景です。親族の大村健一・毎日新聞記者が撮影したものを提供してくれました。



受賞記念のノーベル・レクチャーで感銘を与える名講演をする大村先生。茶道の一期一会の心を解説しながら研究者の心得を説示して聴者に感銘を与えました。



21世紀構想研究会のアドバイザーである元JST理事長の沖村憲樹さんが、長年の日中科学交流に貢献したとして2015年度中国国家政府友誼賞受賞、続いて2016年に中国国際科学技術合作(協力)賞受賞という中国国家最高クラスの叙勲をダブル受賞しました。21世紀構想研究会の誇りとして長く語り伝えたいと思います。



日常的に使っているスイカカードの基本原理解を説明した松下昭先生(神奈川大学工学部名誉教授)は、日本が世界に誇る発明家です。21世紀構想研究会で設置されていた「産業技術・知的財産権委員会」でも2回にわたって発明人生を語り、日本の知財現場の後進性を訴えました。私たちが日常的に使っているスイカカードなどの非接触伝送原理を世界に先駆けて発明した素晴らしい先生です。



中国知財戦略調査会へ参加  
21世紀構想研究会の知財委員会の荒井委員長をはじめ、多くの会員がJSTで設置した中国知財戦略調査会(荒井久光会長)に参加して、中国の知財の現状を調査・分析して報告書をまとめました。本研究会のアドバイザー、沖村憲樹元JST理事長の発案による研究会でした。

すでに米中二大知財大国の時代を迎えており、現状を知らせる報告書を作成して啓発しました。

発行日 2017年10月13日  
発行 特定非営利活動法人21世紀構想研究会

創立20周年企画委員会

委員長 筑紫みづえ 株式会社グッドバンカー代表取締役社長  
副委員長 園山玲子 インターモダル株式会社代表取締役社長

委員 大森みつえ 株式会社カイト代表取締役社長  
" 生越由美 東京理科大学イノベーション研究科教授  
" 外川智恵 大正大学表現学部准教授  
" 中澤律子 株式会社伊勢丹本店食品営業部フードアテンダント  
" 峯島朋子 21世紀構想研究会事務局長  
編集デザイン 小澤みゆき 有限会社フラワーガーデン代表取締役

## ■ 会員名簿 (2017年10月10日現在)

アドバイザー	荒井 寿光	公益財団法人世界平和研究所副理事長、元内閣官房知的財産戦略推進事務局局長、知財評論家
"	安西祐一郎	日本学術振興会理事長、元慶應義塾長
"	大村 智	日本学士院会員、北里大学特別栄誉教授、元女子美術大学理事長
"	沖村 憲樹	JST特別顧問・さくらサイエンスプラン推進室長、元JST理事長
"	黒川 清	政策研究大学院大学名誉教授、元日本学術会議会長
"	黒木登志夫	日本学術振興会・学術システム研究センター相談役、東大名誉教授
"	銭谷 眞美	東京国立博物館館長、元文部科学省事務次官
"	利根川 進	MIT教授、理化学研究所脳科学総合研究センターセンター長
"	藤嶋 昭	東京理科大学学長、東大特別栄誉教授、財団法人神奈川科学技術アカデミー理事長
"	吉川 弘之	元東京大学総長
理事長	馬場 錬成	特定非営利活動法人21世紀構想研究会理事長
副理事長	塚本 章人	特定非営利活動法人21世紀構想研究会副理事長
"	永野 博	公益社団法人日本工学アカデミー専務理事
理事	生島 和正	武蔵エンジニアリング株式会社代表取締役社長
"	岩本 昭治	十文字学園女子大学非常勤講師
"	生越 由美	東京理科大学イノベーション研究科教授
"	合原 亮一	株式会社ガリレオ代表取締役社長
"	佐々木信夫	株式会社特許戦略設計研究所代表取締役社長・弁理士
"	染谷 幸雄	株式会社日本一代表取締役社長
"	筑紫みづえ	株式会社グッドバンカー代表取締役社長
"	中尾 政之	東京大学大学院工学系研究科機械工学教授
"	長谷川芳樹	創英国際特許法律事務所所長・弁理士
"	峯島 朋子	特定非営利活動法人21世紀構想研究会事務局長
"	椋 周二	一般財団法人住宅保証支援機構専務理事
"	山本 貴史	株式会社東京大学TLO(CASTI)代表取締役社長
"	吉海 正憲	住友電気工業株式会社顧問
監事	太田 俊明	オーク税理士法人代表社員、税理士
会員	秋尾 常民	梅坪山 靈巖寺住職
"	秋山 仁	東京理科大学教授、数学者
"	池上 徹彦	文部科学省科学技術・学術政策研究所客員研究官
"	石塚 利博	日本電産株式会社知的財産部部長
"	井上 善男	株式会社エヌ・シー・エスコミュニケーションズ代表取締役
"	岩本 沙弓	大阪経済大学大学院経営学研究科客員教授
"	内海 司	特許業務法人ピー・エス・ディ弁理士
"	大島 朋剛	兵庫県立大学経済学部・大学院経済学研究科准教授
"	大森みつえ	株式会社カイト代表取締役社長
"	沖 浩	公益財団法人森林文化協会常務理事
"	小澤みゆき	有限会社フラワーガーデン代表
"	押久保政彦	押久保政彦国際商標特許事務所所長・弁理士
"	香川 明夫	女子栄養大学理事長・学長
"	加藤 敏久	味の素株式会社 社長付きアドバイザー
"	川上 正隆	青山学院大学大学院法学研究科客員教授
"	北村 行孝	科学ジャーナリスト
"	工藤 治夫	工藤電機株式会社代表取締役会長
"	倉澤 治雄	ジャーナリスト
"	小出 重幸	日本科学技術ジャーナリスト会議理事
"	小平和一郎	一般財団法人アーネスト育成財団専務理事
"	小原 道城	国際書道協会会長
"	小林 憲人	埼玉県ふじみ野市・市議会議員
"	齋藤由美子	オフィスサイトウ代表 看護師
"	財満 信子	有限責任監査法人トーマツ パブリックセクター ヘルスケア部 シニアスタッフ
"	佐藤 門哉	日越貿易株式会社会長
"	下坂スミ子	下坂・松田国際特許事務所所長・弁理士
"	下西 孝	下西技研工業株式会社代表取締役社長
"	白川 展之	文部科学省科学技術・学術政策研究所科学技術予測センター主任研究官
"	白木 学	コアレスモータ株式会社代表取締役社長
"	新庄耕太郎	株式会社高屋代表取締役社長

〃	杉田 定大	一般財団法人日中経済協会専務理事
〃	杉本 昭寿	株式会社みかづき代表取締役社長
〃	砂塚 敏明	北里大学北里生命科学研究所教授、同大学院感染制御科学府教授
〃	隅蔵 康一	政策研究大学院大学教授
〃	関口 博司	株式会社高速屋 取締役CFO
〃	園山 玲子	インターモダル株式会社代表取締役社長
〃	高田 康裕	ザインエレクトロニクス株式会社代表取締役社長
〃	高橋真理子	朝日新聞科学コーディネーター
〃	滝田 恭子	読売新聞東京本社科学部長
〃	田崎 勲	ラバファルト株式会社代表取締役社長
〃	田中 徳夫	岩田合同法律事務所・弁護士
〃	丹波 真也	あお葉国際特許事務所・弁理士
〃	千葉 英之	ジャーナリスト
〃	塚本 桓世	東京理科大学理窓会名誉会長
〃	角田 芳未	信友国際特許事務所所長・弁理士
〃	外川 智恵	大正大学表現学部准教授
〃	友田 寛之	横浜市立大学講師
〃	永井 武	国立研究開発法人産業技術総合研究所ベンチャー開発技術移転センター・スタートアップ・アドバイザー
〃	中澤 律子	株式会社伊勢丹本店食品営業部フードアテンダント
〃	中嶋 隆	中嶋経営科学研究所所長
〃	長島美保子	公益社団法人全国学校栄養士協議会会長
〃	中村 明子	東京医科大学兼任教授
〃	中村 嘉秀	アルダーJ株式会社代表取締役社長
〃	並木 秀男	早稲田大学名誉教授
〃	野田 雅基	株式会社天間堂代表取締役社長
〃	野田 正彦	国立研究開発法人日本医療研究開発機構国際事業部長
〃	萩原 義昭	萩原電気株式会社名誉会長
〃	橋本 五郎	読売新聞東京本社特別編集委員
〃	原 豊	東京工業大学研究・産学連携本部特任専門員
〃	長谷川聖治	読売新聞東京本社編集局次長
〃	原田 雅章	原田雅章知財事務所所長・弁理士
〃	東中川 徹	早稲田大学名誉教授、東京女子医科大学国際分子細胞免疫研究センター
〃	福岡 秀興	早稲田大学ナノライフ創新研究機構規範科学総合研究所招聘研究員
〃	福間 智人	福間智人法律事務所所長・弁護士
〃	干場 静夫	独立行政法人海洋研究開発機構 地球情報基盤センター長代理
〃	朴木 理華	北京銘碩国際特許法律事務所日本代表、中国弁理士
〃	光野 文子	創英国際特許法律事務所・所長補佐・弁理士
〃	南川三治郎	写真家
〃	宮川 公治	東京理科大学理窓ビジネス同友会会長
〃	宮川 幸子	特許業務法人IP-FOCUS/IP-FOCUS株式会社・弁理士
〃	宗像 伸子	有限会社ヘルスプランニング・ムナカタ取締役社長
〃	村上 博	プロデューサー
〃	目黒 豪	ネクセル総合法律事務所・弁護士
〃	森 哲也	日栄国際特許事務所・所長
〃	森 勝	株式会社ウッドウィン顧問
〃	森戸 祐幸	ユーヴィックス株式会社代表取締役社長
〃	本山 和夫	東京理科大学理事長
〃	山縣 大輔	株式会社発明通信社代表取締役社長
〃	山本 眞一	桜美林大学教授・大学院部長
〃	横山 博文	B S朝日取締役
〃	吉田 典之	読売新聞東京本社論説委員
〃	若林 拓朗	先端科学技術エンタープライズ株式会社代表取締役ジェネラル・パートナー
〃	渡辺 望稔	いおん特許事務所所長・弁理士
〃	渡部 政博	バイオジェニック株式会社代表取締役社長
事務局長	峯島 朋子	サンスタジオ副代表
事務局	小室雄太郎	セイコーインスツル株式会社 研究開発センター デバイス技術開発部
〃	立木 冬麗	星のメッセンジャー代表
〃	豊田 有希	MARE-YA代表
〃	西脇 徹	読売新聞東京本社ブランド企画部

## 私たちは、特定非営利活動法人21世紀構想研究会の発展を支援します

(2017年9月末日までにご寄付をいただいた方々、敬称略)

秋尾 常民	生越 由美	銭谷 眞美	中村 嘉秀	峯島 健一
秋山 仁	小澤 みゆき	園山 玲子	中村 明子	峯島 シン子
浅見 由理	押久保 政彦	染谷 光男	中村 長年	峯島 朋子
阿津澤 友吏子	香川 明夫	染谷 幸雄	中村 直子	宮川 公治
阿部 匡子	加藤 敏久	高倉 珠子	新美 まどか	宮川 幸子
阿部 宗昭	川島 慶子	高橋 真理子	萩原 智昭	椋 周二
荒井 寿光	川野 達実	高橋 雪乃	萩原 義昭	椋 ゆかり
安西 祐一郎	木内 あゆみ	滝田 恭子	橋本 五郎	目黒 豪
飯島 京子	木下 和典	竹本 雅則	長谷川 芳樹	望月 健司
飯島 永和	倉橋 麻生	田崎 勲	塙 汐理	本山 和夫
飯田 松子	小出 篤史	立木 冬麗	馬場 錬成	森下 浩道
飯塚 久子	小出 重幸	田中 和子	原 豊	森戸 祐幸
生島 和正	合原 亮一	田中 徳夫	原口 良子	森野 義男
池上 徹彦	小平 和一郎	田中 稔也	原田 雄輔	矢崎 千絵
池田 恵理子	小林 知佳	田中 ミチ	原田 雅章	柳瀬 勝子
石井 一久	小原 道城	千葉 英之	原田 美奈子	山縣 邦彦
井上 善男	駒場 啓子	塚本 章人	東中川 巖	山縣 大輔
井上 雅之	小山 美南	塚本 桓世	東中川 徹	山縣 幸男
岩本 昭治	齋藤 高明	筑紫 直樹	福岡 秀興	山岸 理恵子
植木 キク子	佐々木 信夫	筑紫 みづえ	福沢 史可	山崎 健司
上田 麻子	佐藤 厚志	土屋 由美	藤嶋 昭	山本 貴史
内海 司	佐藤 門哉	角田 芳未	藤原 史	横山 博文
太田 俊明	下西 孝	外川 智恵	府内 隆稔	吉海 政祐
大村 智	白木 学	富井 好子	干場 静夫	吉海 正憲
大森 みつえ	菅原 寛子	永井 武	朴木 理華	吉川 鴻揚
岡田 美星	杉本 昭寿	中尾 政之	増原 宏政	吉川 慎一
岡田 亮	杉本 宥子	中澤 とよ子	松井 辰男	吉田 明日香
沖 世津子	鈴木 陽子	中澤 律子	松井 美智子	吉田 典之
沖 浩	砂塚 敏明	永島 計	松永 果奈	吉水 弘行
沖村 憲樹	隅蔵 康一	長島 美保子	水野 公太郎	和田 美津恵
小楠 由利子	関口 博司	永野 良幹	三岡 美樹	渡辺 昌子
奥田 志津子	関口 洋子	永野 博	皆木 芳恵	渡辺 望稔
				渡部 政博

# 超微量 JET ディスペンス

無限の液体小宇宙への挑戦!



JET による  
超微小径の実現!



液剤例：  
導電性ペースト

## ディスペンサー総合メーカー

3D アライメント機能付  
卓上門型ロボット



半導体用  
全自動多目的  
ディスペンスマシン



液晶パネル用  
全自動シール  
ディスペンスマシン



40年の実績

武蔵エンジニアリング株式会社

本社 〒181-0013 東京都三鷹市下連雀8-7-4 TEL:0422-76-7111/FAX:0422-76-7122  
東京、大阪、名古屋、仙台、福岡、埼玉、長野、東関東、秋田、金沢 (海外) 香港、上海、深圳、北京、蘇州、韓国、台湾、シンガポール、タイ、インドネシア、ドイツ  
www.musashi-engineering.co.jp/

## 「美味しい」お持ち帰り



日本一は家族の笑顔の為に、  
こだわりの食材を使用した  
手作り商品をご用意しております。

日本一 HP



<http://www.nihonichi.jp/>

## 株式会社日本一

本社：千葉県野田市目吹1965 TEL.0120-0147-21

やきとり 日本一

